



自主企画Ⅱ 16:15～17:45

Ⅱ－① 「出されたお茶は飲むべきか!!」～みがけ！人間関係力!!～

アドバイザー：大山 和宏 氏（西岡病院／福岡県）
パネリスト：有馬 孝 氏（西都病院／宮崎県）
鬼塚 友紀 氏（ピア・メンタルささき病院／宮崎県）
児玉 伸子 氏（高宮病院／宮崎県）
宮下 亜寿香 氏（社会復帰施設 芳明館／宮崎県）

*アドバイザー、パネリストとも、全員が精神保健福祉士です。

「自宅へ訪問してお茶を出していただいたけど、コップが黒ずんでいて…」お茶、飲みますか？

毎日行う業務の中でフツとどうなんだろうと考えることってありませんか。でもあまり掘り下げて考える暇も無く流れていく…。そんな小さなことだけどとても大切なポイント、ソーシャルワークを行う上での人と人との関係性や、関係力について、もう一度考えてみませんか。私たち若手が今、経験していることや体験していることの中で、「これでいいのかな？」「こんなこと今さら聞けないし…」ということを飾らずに表現し、自分だけが悩んでいるんじゃない、そんなとき他のみんなはどうしてるのかな、ということをつかち合っていきたいと思います。若手PSW自身の気づきと、元気を持ち帰れる場にしていきます。

対象：経験年数3年以下のPSW

定員：約50名（事前のお申込によりグループを決めさせていただきます。）

内容：若手のパネリストが日頃の悩みを告白します。そこにアドバイザー大山氏からの熱いメッセージをいただいて、参加者でバズセッションを行っていききたいと思います。

結論はでなくても良いではないですか。それぞれの世代なり、働く環境なりでの考え方があります。それを飾らずに出せる場にしたいと考えています。

16:15～16:35 パネリストによる発表

16:35～17:30 バズセッション

17:30～17:45 アドバイザーからのメッセージ

Ⅱ－② 語ろう!! 『自立』『支援』『法』 ～鼎談～

鼎談者：木村 雅昭 氏（友和病院 精神保健福祉士／広島県）
：永山 昌彦 氏（障害者自立応援センターYAH! DO みやざき 代表／宮崎県）
：田畑 寿明 氏（宮崎県障害児・者そうだんサポートセンター 社会福祉士／宮崎県）
司会：岩下 博子 氏（ブライトハウス住吉 施設長／宮崎県）



「ただ普通に生活したいだけなのに、なぜ利用料がかかるのか？」そんな声が聞かれる中、「そもそも自立とは何なのか？支援とは何なのか？」を改めて考えていかなければならない局面に至っているのではないかとそれぞれの立場が考える「自立」とは？「支援」とは？そしてそれをふまえて必要な「法」とはどんなものなのか？木村氏、永山氏、田畑氏の鼎談を軸に、参加者からの声を交えながら、会場一体となって考えていく。

16:15～17:45 会場参加型の鼎談

Ⅱ－③ 「精神保健福祉士としての新たな取り組み」

～新たなつながりを創造するために 第2部～

私たち精神保健福祉士を取り巻く環境は今大きく変わろうとしている。障害者自立支援法、医療観察法、発達障害者支援法、自殺対策基本法等の成立に見られるように、今まで私たちが学んできた知識だけでは、専門職として生き残れない時代が到来している。今後、私たちには、精神保健福祉に関する知識を今まで以上に深めることはもちろんであるが、今まであまりアプローチしてこなかった領域（自殺対策、ニート・引きこもり、児童虐待、発達障害等）にも目を向ける必要性が出てきている。

『精神保健福祉士が、「今できること」、「今後なすべきこと」』

ーグループワークー

私たち精神保健福祉士の活躍が今後期待される分野の報告や現状への考察、第1部での話題提供を受けての感想や疑問・質問などを、グループワークの中で活発に論じていく。

そこから、精神保健福祉士としての専門性を活かしながら、私たちが「今できること」「今後なすべきこと」を参加者全員で共有していきたい。

アドバイザー : <産業保健スタッフ分野>

小宮 康裕 氏 (今宿病院 医師/福岡県)

<ニート支援分野>

竹田 寿昭 氏 (若者自立塾静活館 センター長 精神保健福祉士/鹿児島県)

<DV、虐待、トラウマ、被害者支援分野>

甲斐 英幸 氏 (都城児童相談所 児童福祉司/宮崎県)

<発達障害支援分野>

鮫島 奈緒美 氏 (宮崎市総合発達支援センター 主任臨床心理士/宮崎県)

16:15～17:00 グループワーク

17:00～17:45 各グループの発表 質疑応答